週刊観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）
第2部
高校教育旅行特集

生徒の「生きる力」を育む体験学習

修学旅行では、歴史的名所や文化財などを単に見るだけでなく、実際の体験を通して学ばせる体験学習が重視されている。一方、高等学校で2022年度から始まる新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」により、子どもの「生きる力」の育成を目指す。日本修学旅行協会理事長の竹内秀一氏を司会・コーディネーターとして、浅草高等学校主任教諭の海上尚美、石神井高等学校主任教諭の中村修、田柄高等学校教諭の細川貴之の3氏に「生きる力を育む体験学習」を実現するためのポイントについて語り合っていただいた。

竹内氏

海上氏

座談会

出席者（五十音順）

（司会・コーディネーター）
日本修学旅行協会　理事長　竹内秀一氏

東京都立浅草高等学校　主任教諭　海上尚美氏
※座談会開催当時、4月1日から東京都立総合芸術高校に異動

東京都立石神井高等学校　主任教諭　中村修氏

東京都立田柄高等学校　教諭　細川貴之氏

重要視される体験的な学び

竹内氏▶　中村氏◀

中村氏

未来志向の平和教育目指す

体験メニューは選択させる

海上氏▶　細川氏◀

細川氏

民泊体験で生徒が変わった

竹内　最初に学校の紹介から。

海上　浅草高校は名前の通り浅草にあって浅草寺から10分ぐらいのところにある。昼夜間定時制の学校で私は夜の部の勤務。生徒は中学校になかなか行けなかった子や他校を辞めてきた子、外国にルーツのある生徒が非常に多い学校だ。

中村　石神井高校は今年で創立80周年を迎える。元々は男子校から始まっていて無骨な気風もある。最近は「文武二道」をスローガンに掲げている。最終的にはグローバルな社会人の基礎力を養成していくというところでやっている学校だ。

竹内　細川さんは現任校に加えて、前任校も。

細川　田柄高校には「外国文化コース」があって外国にルーツのある生徒を非常に多く受け入れている。多種多様な言語が飛び交う国際文化豊かな学校だ。

前任校は、東京都立足立東高等学校。「エンカレッジスクール」という小中学校で学力を発揮できなかった子の学び直しを中心とした学校だ。

竹内　授業の中で体験的な学びに取り組んだことはあるか。

海上　国立民族学博物館に「みんぱっく」という貸し出し教材がある。世界のいろいろな衣食住に関わるものがスーツケースに入って届く教材なのだが、授業の中でそれを実際に触ってみる、衣装を着てみる、リアルに体験したくない人は見てみるということを年2、3回やっている。生徒は、抽象的なことは想像しづらいので触ってみると分かるとか、触ってみて初めては自分と比べてどうだろうという思考回路が働くような手応えを持っている。後は夏休みに博物館に行くなど、そういうようなことを世界史や日本史の授業でやっている。

細川　前任校のエンカレッジスクールでは、実際に経験をさせて、そこからいろいろ考えさせることを大事にしている。「福祉」という授業では、座学に加え、老人ホームなど福祉施設に実際に生徒が行って仕事を体験する。お年寄りとの関わりは普段あまりない。毎週行き、徐々にお年寄りとの関わりの中で興味が湧いてきて福祉、介護関係を就職先に志望する生徒も多い。逆に進路を変える生徒もいる。よりイメージを持たせやすいのが一つの良さだ。

中村　「人間と社会」の授業で「グローバルな文化の多様性」をテーマにした時には日本語学校と連携して実際に外国人をクラスに1人ずつ呼んで、例えば、東京で暮らすうえで困っていることなどについて一緒に考えて解決していった。「東京体験スクール」といって、7月と12月に海外の高校生、カナダ人と台湾人の2人が来て、その人たちとの文化的な交流の取り組みを今年度からやっている。企業訪問は1年生の夏休みに私の学年では博報堂やIBMなどの企業に行ってキャリア意識を高める。「江戸」や「東京」をテーマにして歴史を教える授業もある。

竹内　体験的な学びを通して、座学で学んだことが定着する、あるいは座学での抽象的なものが具体的なものとして体感できる、そういった機会になると話を聞いて思った。今日は教育旅行がテーマだが、日本修学旅行協会の調査では、修学旅行で重点を置いた活動は「歴史学習」が非常に多い。だが、それ以外を見てみると中学校は「芸術体験」や「物づくり体験」が上位に来ているし、高校では平和講話を含めた「平和学習」や「スポーツ体験」とけっこう体験的な学びを修学旅行で取り入れている学校が多い。実際にどんな修学旅行をやってきたか教えてほしい。

海上　都立高校は3校目で引率は何度か行ったが、自分が担当になったのは初任の学校で京都、大阪に行った。生徒を安全に連れて行くという意識がすごく大きくて、それは生徒が外の人に迷惑をかけないということでもあった。2校目の学校では北海道に行き、今の学校では沖縄に行った。狙いは平和学習というテーマもあるし、短い時間の中でどれだけの体験をさせるかとか、触ってみて初めて分かることもあるし、体験活動は北海道では旭山動物園に行ったほか、自然体験をやった人もいる。沖縄ではシーカヤック体験や、シーサーづくりなど。イルカと触れ合ってみるとかアウトドアは絶対に嫌という人もいるので体験のメニューは少ない中でも選べるようにしている。

細川　私も今3校目だが、初任の時は長崎で平和学習を行った。すごく印象的だったのが、そこでの民泊だ。民泊先のお宅で農業や漁業などの体験活動をする。前の学年は沖縄で、「修学旅行は長崎だ」と言った時に「何で沖縄ではないんだ」と生徒から批判が多かった。いざ行ってみると、2日目の民泊で生徒が変わった。おじいちゃんおばあちゃんと一緒にみかんをもいだりするのだが、学校現場で対応が難しい女子生徒がおじいちゃんおばあちゃんの言うことを聞いている。最後に離村式が朝早くあったのだが、あの生徒が泣くぐらいだろうと思った。1泊だけでもあの子たちの気持ちが揺れ動いた。今までとは違う人との関わり方や新しい発見があったのではないか。きっかけを学校が提示することによって生徒の世界が広がったと考えるとすごくいい経験だった。

竹内　体験活動の内容に関する調査では、中学校は「農山漁村体験」が6番目に入って、これはほとんど「民泊」とくっついている。民泊というのは農山漁村の家庭に泊めてもらって、同時にその家庭がやっている農業や漁業、林業などの生業を体験する。高校の方も第2位に来ている。東京はあまりやっていないが、関西方面はすごく多い。普段接しないおじいちゃんおばあちゃんと接してすごく良かったという印象的だったのが、そこでの民泊だ。民泊先のお何を育てるのかというところがなかなか見えない。その辺りはどうか。

細川　おじいちゃんおばあちゃんは何でも受け入れて、かわいがってくれる。子どもたちにとってはすごく心地が良くて安心でき、人を信用することにつながる。さまざまな家庭環境がある中で、心の安定は人格の完成に向けた素地となると考える。

竹内　進学校の修学旅行で新しい取り組みをしたのが石神井高校だ。

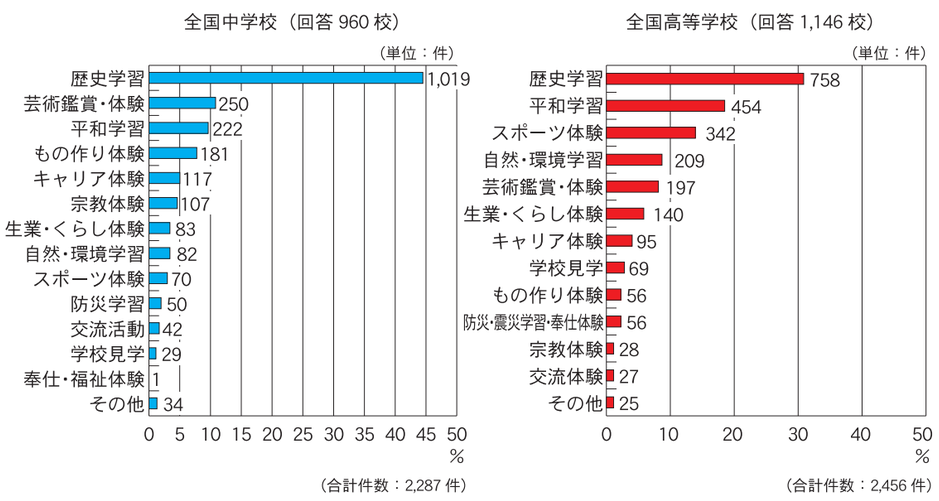
中村　2017年度の私の学年では福岡県、佐賀県、長崎県の北部九州を巡った。特に長崎県での平和学習をテーマにしてやった。今までの平和学習は、昔はこういうことがあった、それに対して、今の私たちとは違うというところで終わってしまうことが多かった。自分事に捉えられない。それを打破するため、核兵器の歴史や被害を学んだうえで生徒が主体的に平和維持の行動ができる未来志向の平和教育を目指した。原爆資料館や原爆死没者追悼平和祈念館などを見る、被爆者の講話を聞く、大体の学校はここで終わるが、さらに平和教育に熱心な現地の大学生たちと平和と未来について語り合った。最終的には、平和は自分たちが創っていかなければ維持できないという考え方になる子が多かった。

18年度の修学旅行は長崎での平和学習は変わらないが、熊本に行って防災学習をテーマにする方に少し軸をずらした。東日本大震災で東京も被災をした。防災意識を高めて主体的に考えて行動できるようにならなければいけない。そういった目的のもと熊本地震の被害を学んだ。

海上　見学する、体験する、人の話を聞く、自分が何かをやってみる、いろいろなレイヤーがある。ダイヤモンドを削る時にはダイヤモンドを使う。人を磨くのもやはり人だ。民泊の話では私も前の学校で、沖縄の民泊を経験して、「沖縄に行く」と言って家出をした子がいた。それぐらいのインパクトがある。

14面に続く

修学旅行で重点を置いた活動（2018年度）　（公財）日本修学旅行協会 調査



修学旅行における体験活動の内容（2018年度）　（公財）日本修学旅行協会 調査

中学校

順位	体験活動内容	件数
1	ものづくり体験（絵付け、焼き物、伝統工芸など）	201
2	スポーツ体験（海、湖、川、山のアクティビティ）	126
3	芸術・文化体験など	108
4	社寺などでの体験（座禅、法話、写経等、出張含む）	100
5	料理体験、食品加工体験	93
6	農山漁村体験（田舎体験、民泊、日帰り含む）	84
7	キャリア体験（職場訪問、職業体験、職業講和）	35
8	平和学習（体験講和含む）	23
9	震災学習、防災学習	12
10	環境学習、自然体験など（自然観察含む）	11
11	ウインタースポーツ体験（スキー、スノボーなど）	2
－	その他	10
	合計	805

高等学校

順位	体験活動内容	件数
1	スポーツ体験（海、湖、川、山のアクティビティ）	448
2	農山漁村体験（田舎体験、民泊、日帰りを含む）	172
3	ウインタースポーツ体験（スキー、スノボーなど）	167
4	ものづくり体験（絵付け、陶芸、伝統工芸など）	126
5	料理体験、食品加工体験	109
6	芸術・文化体験など	65
7	環境学習、自然体験など（自然観察を含む）	30
8	キャリア体験（職場体験、職業体験、職業講和など）	17
9	社寺などでの体験（座禅、法話、写経など）	6
10	平和学習（体験講和を含む）	4
11	震災学習、防災学習	3
－	その他	12
	合計	1,159

※その他：学校見学、進路学習、国際交流、ボランティア活動、福祉活動など

©TOKYO-SKYTREE
東京方面への修学旅行をお考えのみなさまへ
東京スカイツリー® 修学旅行プログラムのご案内

① 東京スカイツリー×千葉工業大学が送る「未来体験ツアー」
最先端技術を応用したアトラクションゾーンです。
東京スカイツリー入場特典として、ロボット技術・人工知能・宇宙に関するガイドツアーを申し込めます（無料）。
災害対応ロボット
災害対応ロボットの実演!
300-Inch 3D Space Theater
大迫力! 息もつかせぬ15分
小惑星探査機「はやぶさ2」
惑星リュウグウの着陸に成功!

② 東京スカイツリータウン®「ミールクーポン」
東京ソラマチグルメガイドに掲載されている店舗（一部除外店舗あり）とスカイツリーカフェ（フロア350・340）にてご利用いただける500円（税込）のお食事券です。
東京スカイツリータウン® ミールクーポン（お食事券） ¥500（税込）
東京スカイツリータウン ミールクーポン ご利用可能店舗詳細（グルメガイド）
※ご利用いただける対象店舗は予告なく変更となる場合がございます。

③ 鉄道高架下複合商業施設「東京ミズマチ®」
浅草と東京スカイツリータウンを結ぶ新たなエリアが誕生!
東京スカイツリーのご見学の前後に、隅田川を中心とした水辺エリア回遊をお楽しみください。
隅田川に新設された歩道橋「すみだリバーウォーク」の開通で、浅草と東京スカイツリータウン間の徒歩アクセスが飛躍的に向上。
話題性のある個性豊かなショップを揃えるほか、公園と川の周辺環境を活かし、テイクアウトを楽しめる店舗等が出店します。

見学コースイメージ
東京ミズマチ → 東京スカイツリー
東京ソラマチ® → 千葉工業大学

東京スカイツリー 高校生団体料金

天望デッキ	1,100円
天望デッキ+天望回廊	1,700円

※詳しくは、公式ホームページ <http://www.tokyo-skytree.jp/> をご確認ください。

お問い合わせ
東武タワースカイツリー株式会社 観光営業部
tower-sales@tokyo-skytree.jp